

高等部 作業学習（石けん班） 授業案

日 時：令和3年10月29日
10:00～11:50

場 所：山形県立米沢養護学校
石けん加工室・視聴覚室

授業者：T1 原田ルミ T2 小関由美子
T3 山川裕史 T4 青野太志
T5 高橋直子

1 単元名 「よねようバザーを成功させよう～新石けんPR大作戦～」

2 期待する姿

- ・よねようバザーに向けて、一人一人が精一杯製品作りに取り組む姿。
- ・よねようバザーでたくさん売るために、仲間と協力してPR活動や販売に取り組む姿。

3 単元計画について

（1）生徒および単元のテーマについて

- ・石けん班は、1年生3名、2年生3名、3年生3名の計9名である。教員5名を含め、全員で工程を分担して「よねよう石けん」や「グリセリンソープ」などの製品作りに取り組んでいる。個別の対応が必要な生徒や欠席が多い生徒、作業に取り組める時間が短い生徒もいるが、これまでの経験から、自分のやるべきことが分かり自分の工程に責任を持って取り組むことができる生徒がほとんどである。
- ・これまでの伝統的な製品である「よねよう石けん」「ピンククレイ石けん」に加え、今年度から「グリセリンソープ」を製作している。これまで「グリセリンソープ」の製作を担当する生徒は、普段は「よねよう石けん」の工程を担当し、曜日によって「グリセリンソープ」を製作してきた。どちらもやり方を理解し意欲的に取り組むことができていた。
- ・前単元では、保護者や教員に加えて、自分の出身小中学校や放課後等デイサービス、現場実習先などに注文書を配付しての注文販売を行った。注文書配付先を自分たちで考えたり、注文をしていただけるように配付先へのメッセージを書いたりする中で、「売りたい」という気持ちが高まった。また、石けん班のロゴと「よねよう石けん」の新ラベル作りに取り組んだ。デザイン案やアイディアを持ってプロのイラストレーターに依頼するために、アイディアを自分たちで描いてどれが良いか話し合ったり、数種類の案の中から意見を出し合ったり、いくつか絞ったりするなど、仲間と一緒に意欲的に活動することができた。
- ・本単元は、「よねようバザーを成功させよう～新石けんPR大作戦～」である。「よねようバザー」は11月13日（土）に開催される全校行事である「よねようまつり」において、高等部が行うバザーである。新型コロナウイルス感染対策のため、昨年度から来校者を保護

者のみに限定しての開催となっているが、「よねようまつり」前の一週間を「よねようまつりウィーク」として、中学部・高等部のバザーや小学部の発表が毎日催され、児童生徒が買い物をしたり発表を見たりできる機会としている。

- ・本単元では、今年度からの新製品である「グリセリンソープ」と新ラベルとなった「よねよう石けん」などの製品をたくさん売るための活動に取り組んでいく。「グリセリンソープ」を担当する生徒は、前単元の注文販売で人気のあった「グリセリンソープ」を多く製作するため、単元を通して毎日「グリセリンソープ」作りに取り組み、さらに、香りを付けるなどの新たな取り組みも行う。「よねよう石けん」の製作を担当する生徒は、「グリセリンソープ」担当の生徒と分かれて製作することになり、これまでより少ない人数で「よねよう石けん」を製作するため、より責任を持って担当の工程に取り組む姿を期待する。
- ・「よねようバザー」や「よねようまつりウィーク」でたくさん売るためのPR活動として、販売時に注目されるように、新ラベルとなった「よねよう石けん」をポスター・チラシなどで販売予告したり、新ラベルのキャラクターを取り入れた看板やポップを作成したりする。「グリセリンソープ」については、多くの方に泡立ちと使用後のしっとり感を体験していただき購入していただけるように、販売と並行して「グリセリンソープ」での手洗い体験コーナーを設ける。その際は、新型コロナウイルス感染症防止のための手立てとして、密集しないように体験と販売の場所を分けたり、体験で使用する一人分ずつのお試し用の石けんを準備したりする。これらのPR活動は、「グリセリンソープPR班」と「よねよう石けんPR班」に分かれて取り組む。
- ・自分たちが関わって完成させたロゴやラベルに愛着を持つことで「このロゴやラベルが付いた製品を知ってほしい、もっと売りたい」という気持ちにつながり、自分の担当する工程に集中するなど、意欲的に製品作りに取り組めるようになることを考える。また、販売促進の活動に取り組む中で、自分たちの製品の良さを改めて知り、更に良い製品を作るために毎日の製作活動に精一杯取り組むようになることを期待する。宣伝や販売促進の方法など仲間と話し合っただけで決めたことに意欲的に取り組み、販売活動でたくさん売れることで達成感・充実感、更には今後の製作活動への意欲が持てることを期待する。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくり、手立ての工夫

＜主体的な学び＞

- ・ P R活動に興味を持ち自分たちも「やってみたい」「作ってみたい」と思えるように、導入時に実際の動画や画像を示したり、教師のアイデアを発表したりする。
- ・ 自分たちの製品をP Rすることで製品の良さを知り更に意欲的に製作できるように、「よねよう石けん」作り担当の生徒と「グリセリンソープ」作り担当の生徒がそれぞれ「よねよう石けんP R班」「グリセリンソープP R班」として活動する機会を設定する。



単元の期待する姿の実現



＜対話的な学び＞

- ・ P R活動の内容をみんなで決めることができるように、どんなP R方法があるか自分の意見を出したり、友達の意見を聞いたりするなど、グループで話し合う機会を設ける。その際、意見を出しやすい（またはイメージを持ちやすい）ように、実際の手洗い動画や画像を示したり、教師も意見を言ったりする。

＜深い学び＞

- ・ 自分たちの作った製品が売れ、たくさんの人に喜んでいただくことで働くことの達成感・満足感が得られるように、売れ筋の「グリセリンソープ」を毎日製作したり、販売促進活動に力を入れて取り組んだりする。
- ・ 「よねようまつりウィーク」や「よねようまつり」当日に販売リハーサルで学習したことが生かせるように、台本を用意したり、実際の役割分担と同じ動きで繰り返し練習する機会を設けたりする。

(3) 活動内容および日程計画

月 日	2・3・4校時の活動内容	6校時の活動内容
10月20日 (水)	・ 導入 単元テーマ、売上目標・個別目標設定、担当工程・日程確認、P R活動についての話し合い、役割分担等	・ 「グリセリンソープP R班」「よねよう石けんP R班」に分かれての話し合い
21日(木)	・ よねよう石けん、グリセリンソープ作り	・ 班に分かれての活動 手洗い動画作成、看板作りなど
22日(金)		
25日(月)		
26日(火)		
27日(水)		
28日(木)		
29日(金) 本時	↓	↓

11月1日(月)	・よねよう石けん、グリセリンソープ作り	・動画、看板など完成
2日(火)	↓	・商品紹介・目標動画撮影
4日(木)	・よねよう石けん、グリセリンソープ作り、ラッピング	・販売シフト確認、販売リハーサル
5日(金)	↓	↓
8日(月)	・「よねようまつりウィーク」販売、買い物・見学	・売り上げ確認、ラッピング、販売準備など
9日(火)		
10日(水)		
11日(木)		
12日(金)	↓	↓
13日(土)	・「よねようまつり」販売、買い物、見学	・売り上げ確認、片付け、在庫確認など
16日(火)	・まとめ、お疲れ様会 まとめのつどいでの発表準備、練習	・まとめのつどい

- ・単元導入時は、生徒がPR活動のイメージを持って話し合いができるように、実際の手洗い動画や画像を用いる。また、製作に意欲的に取り組めるように、昨年度の売り上げをもとに話し合って売り上げ目標を設定したり、個別目標を決めたりする。
- ・「よねようまつりウィーク」直前の6校時は、販売への期待感を高めることができるように、販売リハーサルを行う。その際、自分の役割が分かり主体的に活動できるように、当日と同じ動きでシミュレーションする。
- ・「よねようまつりウィーク」と「よねようまつり」当日は、多くの生徒が販売に係わり売れることの喜びをより多く感じられるように、販売や体験コーナーの人数を増やす。その際、密を回避できるように、一つの教室を石けん班の販売コーナーとして使用し、「手洗い体験コーナー」は、教室近くの水屋で行う。
- ・単元のまとめでは、「よねようバザー」での成果が分かるように、売り上げ目標を達成できたか全員で確認する。

4 本時の計画

(1) 本時の期待する姿

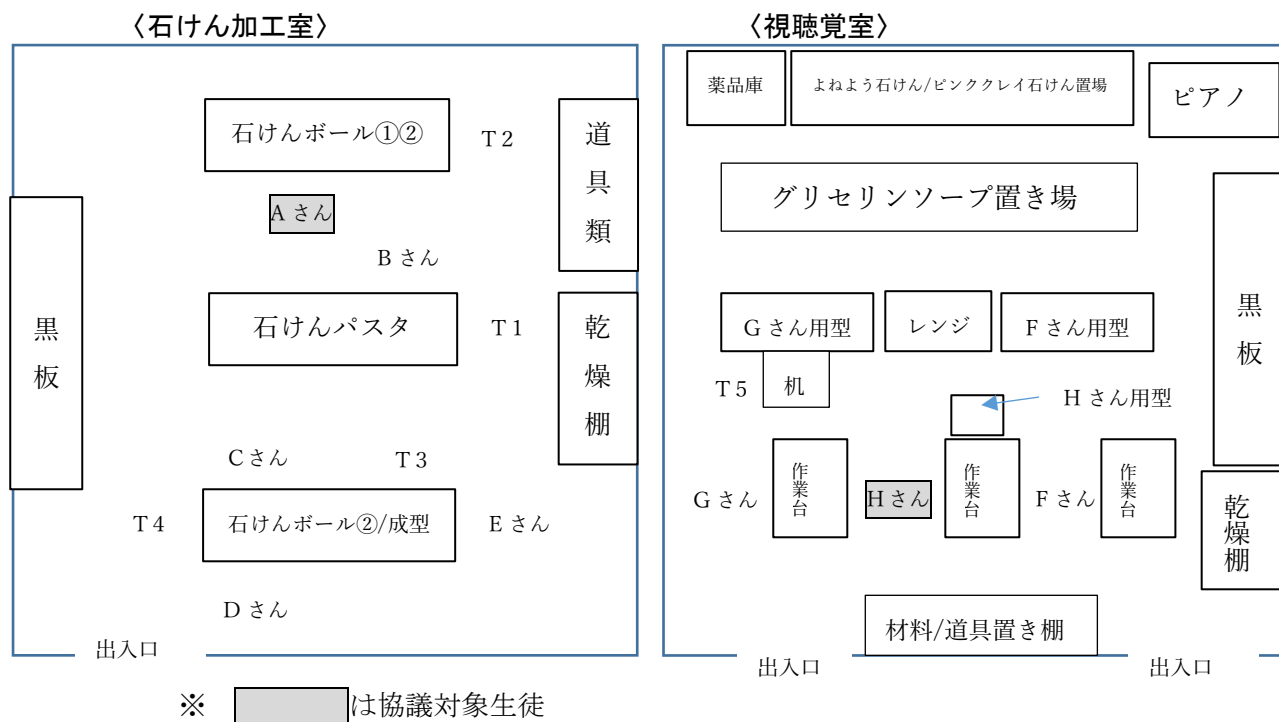
- ・自分たちでPRしている自慢の石けんをたくさん作るために、一人一人が精一杯製品作りに取り組む姿。

(2) 展開

時配	生徒の活動	教師の動き
5	○作業の準備をする。 ・身支度をする。 ・めあてを確認する。	・必要に応じて、生徒と共に本時の作業内容やめあてを確認したり、身支度を整える支援をしたりする。 ・準備をしながら、PR活動について話題にし、製作にも意欲が持てるようにする。
9 5	○製作する。 <よねよう石けんの製作> 〈石けんボール①作り〉 Aさん ・石けん素地にミント液を加えて混ぜ、ボール状にする。 〈石けんパスタ作り〉 Bさん ・石けんボール①をミンサーでパスタ状にする。 ・一度パスタ状にしたものを丸めてもう一度ミンサーに掛ける。 〈石けんボール②作り〉 Aさん Cさん ・石けんパスタを石けん一つ分の重さに計量しボール状にする。 〈成型〉 Dさん Eさん ・石けんボール②を石けんの型枠に入れ、成型し乾燥させる。 〈型枠外し〉 Eさん ・乾燥した石けんの型枠を外す。 <グリセリンソープの製作> Fさん Gさん Hさん ・材料を細かく砕き、石けん1個分の重さに計量する。 ・色素と水を計量し混ぜる。 ・材料を電子レンジで溶かす。 ・溶けた材料と色素を混ぜる。 ・型に流し込む。 ・以上の工程を数回繰り返す。 〈ロゴシール貼り〉 Iさん ・ロゴシールを貼り、ラッピングした袋を閉じる。	・T2は、前半Aさん(10:00～11:00)の作業を見守りながらBさんと一緒に石けんパスタ作りをする。Aさんが洗い物のために2階に移動する際は、移動の支援をする。後半(11:00～11:50)はIさんに個別に支援する。 ・T1は、前半Iさんに個別に支援する。後半はAさんの作業を見守りながら、Bさんと共同で石けんパスタ作りをしたり、ミンサー掛け1回目の石けんパスタをボール状にし、2回目のミンサー掛けの準備をしたりする。 ・T3は、CさんとEさんの体調や作業を見守りながら、一緒に成型や型枠外しをする。 ・T4は、Dさんの様子を見ながら支援したり、一緒に成型したりする。前半T2がAさんと洗い物に行ったときは、Bさんの支援をする。 ・T5は、Fさん、Gさん、Hさんの本時の作業内容を確認し、作業の様子を見守ったり必要な支援をしたりする。
1 0	○後片付け・掃除をする。 ・洗い物をする。 ・作業台の上や床の掃き掃除をする。 ・エプロン、帽子、手袋を持ち帰る。	・生徒と共に洗い物や掃除をしたり、必要に応じてエプロンなどを持ち帰る支援をしたりする。

※ は協議対象生徒

(3) 場の設定と配置について



- ・ よねよう石けんは石けん加工室で、グリセリンソープは視聴覚室で製作する。
- ・ 石けん加工室では、工程の流れが分かりやすいように、工程順に一系列に作業スペースを配置する。
- ・ 視聴覚室では、材料や道具を自分で準備して使用することができるように、材料置き場を広く確保し、それぞれの材料や道具を置くスペースを視覚的に分かりやすく示す。
- ・ I さんは、高等部学習室 5 で個別に活動する。

(4) 本時の個別の期待する姿と手立ての工夫

名 前		Aさん (2 学年) ※協議対象生徒	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
・石けんボール①作りの工程に集中して取り組む。 ・石けんパスタを正確に計量して石けんボール②作りを行う。 ・新ラベル、ロゴを使って、PRのためのチラシや看板作りに集中して取り組む。 ・自分から作業が終わったことを報告する。		・石けん素地とミント液をまんべんなく混ぜ合わせてボールに丸めることができる。(知・技) ・石けんパスタを63g正確に量って丸め、石けんボール②を作ることができる。(思・判・表) ・お客様が見やすいように考えながら、PR用のチラシや看板を作る。(思・判・表) ・自分から進んで、作業が終わったことを報告する。(主)	
本単元に関わる支援内容		作業① 自立②	主な各教科との関連 職業1段階(1)ア
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
石けんボール② 石けんボール①	・石けん素地とミント液を混ぜ合わせる際に、混ぜ残しがあるので、声掛けが必要なきがある。 ・石けんボール①を10個作ったら、洗い物に行き、休憩を挟んで石けんボール②作りに取り組んでいる。 ・自分の担当する工程が終わっても報告しないで待っていることがあるので、報告するように声掛けすると、報告することができる。	・石けん素地とミント液をまんべんなく混ぜ合わせ、石けんボール①を10個作成する。 ・石けんパスタを正確に計量して丸め、石けんボール②を作成する。 ・自分の担当する工程が終わったら報告する。	・石けん素地とミント液をまんべんなく混ぜ合わせて石けんボール①を作ることができるように、深めの安定したボールを準備する。 (工程や手順)(見通しやめあて) ・見通しが持てるように、あらかじめミント液を量って小分けにして用意しておく。 (見通しやめあて) ・正確に計量ができるように、数字の見やすいスケールを準備する。(教材や用具) ・終わったら報告することができるように、作業をする前に、教師と報告することを確認する。(教師や友達との関わり)

名 前		Bさん (1 学年)		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
- 石けんボールを自分でミンサーに入れたり、力を入れて棒で石けんボールを潰したりしながら、教師と一緒に石けん pasta 作りを時間一杯する。 - 仲間と一緒に販売促進の活動や販売に取り組み、楽しみながら多くの人と関わる。		- 一日分の石けんボールをできるだけたくさん pasta にすることを目指して、時間一杯作業をする。(主) - 自分でミンサーに石けんボールを入れたり、石けんボールを棒で潰そうとしたり、正しい方向にハンドルを回したりする。(思・判・表) - 自分のできることを生かして、仲間と共に動画作りなどの P R 活動に楽しく取り組む。(主) - 手洗い体験コーナーや販売のできる役割を担当し、お客様との関わりを楽しむ。(主)		
本単元に関わる支援内容		作業① 自立②	主な各教科との関連	職業 1 段階 (1) ア
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
石けん pasta 作り	- 石けん pasta 作りの手順を覚え、自分から石けんボールを取ったり潰そうとしたりする。 - 石けんボールを潰すことは力が足りず難しいが、材料が堅くハンドルが重くても力を入れて回すことができる。 - 休憩時間以外にも手を休めることがあるが、声掛けや仲間からの励ましで作業に取り組むことができる。	石けんボールを自分でミンサーに入れたり、力を入れて棒で石けんボールを潰したりしながら、教師と一緒に石けん pasta 作りを時間一杯する。	- できるだけ生徒が自分から取り組めるように、石けんボールを入れる声掛けを少し待ったり、生徒が石けんボールを潰そうとする動きに合わせて一緒に棒を動かしたりする。(友達や教師との関わり) - 本時のめあての量が分かるように、コンテナ一つ分を 2 回ミンサーに掛けることを毎日繰り返す。(工程や手順) - 時間一杯作業ができるように、称賛の声掛けを多くしたり仲間と関わりが持てるような声掛けをしたりする。(友達や教師との関わり)	

名 前		Cさん (3 学年)		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
・自分で決めた時間一杯、集中して作業に取り組む。 ・材料を正確に計量し、一つ一つ丁寧に、表面が綺麗な石けんボール②を作る。 ・新ラベルでのラッピングや新ラベルの PR 活動に、自分の意見を出しながら取り組む。		・スケールを使用し、正確に材料を 63 g 計量する。(知・技) ・表面が綺麗な仕上がりになっているかを意識して製作する。(思・判・表) ・前後の工程の進捗状況を見て判断し、必要に応じて前の工程に材料をもらいに行ったり、後の工程を手伝ったりする。(思・判・表) ・自分で決めた時間一杯、責任を持って工程に取り組む。(主)		
本単元に関わる支援内容		作業①② 自立①	主な各教科との関連	職業 1 段階 A イ (ア) (イ) 国語 1 段階 [知・技] ア [思・判・表] A・B 数学 1 段階 A エ (ア) (イ)
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
石けんボール②作り	・学校を欠席する日が多く、作業学習に参加できない日が多い。参加できた日も作業による疲れが溜まりやすく、翌日以降の欠席の原因となることがある。 ・安定した登校、作業学習への参加をするために、本人と相談し、作業時間を 11 時までとした。 ・手先が器用で、石けんボール②作りでは、表面を綺麗に仕上げるができる。 ・新ラベルに関わる前単元の活動には、欠席によりほとんど参加できていない。	・自分で決めた時間一杯、石けんボール②の工程に取り組む。 ・正確に 63 g を計量し、表面が綺麗な仕上がりになることを意識して石けんボール②を作る。 ・体調面で不調があるときは、教師と相談して、自分で活動量や内容を決めて取り組む。	・時間一杯取り組むことができるように、本人と作業時間を話し合っ決めてたり、座ってできる作業工程を準備したりする。(教材や用具) (友達や教師との関わり) (場の設定) ・石けんボール②の表面を綺麗に仕上げるができるように、綺麗な仕上がり成型の出来栄を左右することを繰り返し伝え、出来栄をその都度称賛する。(工程や手順) ・自分の体調や気持ちを教師に相談することができるように、本人の様子を観察し、必要に応じて体調について確認する。(友達や教師との関わり)	

名 前		Dさん (1 学年)		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
・めあての数の成型に取り組み、仕上がりを平らにする。 ・アイディアを出しながら看板作りやポスター作りに取り組む。		・平らな仕上がりが分かって成型する。(知・技) ・平らな仕上がりか判断して取り組む。(思・判・表) ・アイディアを相手に伝える。(思・判・表) ・めあての数の成型に取り組む。(主) ・仲間と共に石けん作りや準備、販売活動に取り組む。(主)		
本単元に関わる支援内容		作業①② 自立②	主な各教科との関連	職業 1 段階アイウ 国語 1 段階イウ
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
よねよう石けんの成型	・作業に取り組むことに抵抗があるが、本人が取り組みそうなめあての数を一緒に考えたり、達成したら称賛したりすることを積み重ねることで、時間一杯取り組むことは難しいがめあてを毎回達成することができるようになった。 ・平らに仕上げるコツを伝えることで、意識して取り組むことが少しずつできてきた。	・めあての数の成型に取り組む。 ・仕上がりを平らにする。	・めあての数を意識して取り組むことができるように、初めに確認する。 (見通しやめあて) ・仕上がりを平らにすることができるように、コツを確認したり仕上がりを一緒に確認したりする。 (見通しやめあて) (工程や手順)	

名 前		E さん （3 学年）		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
- 作業の始まりの時間を守り、時間一杯集中して成型などの工程に取り組む。 - 綺麗な仕上がりを意識して、毎日目標数の成型を行う。 - 新ラベルでのラッピングや新ラベルの P R 活動に、自分の意見を出しながら取り組む。		- 力加減を調整し、均等に力を掛けて石けんを型枠に押し込んで成型する。（知・技） - 型枠にきちんと石けんが詰まっているか、平らに詰まっているかを判断しながら成型する。（思・判・表） - 新ラベルの P R 方法について、より売れるための工夫を考え、自分の意見を積極的に出す。（主）		
本単元に関わる支援内容		日生②③ 作業① 自立②	主な各教科との関連	職業 1 段階 A イ（ア）（イ） 国語 1 段階〔知・技〕ア 〔思・判・表〕A・B 数学 1 段階 A エ（ア）（イ）
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
よねよう石けんの成型 ～ 枠はずし	- その日の体調や精神面の不調により、作業開始までに時間を要することがある。 - 自分で出来栄を確認しながら成型を行うことができる。完成度は高い。 - 工程の流れを理解し、準備から片付けまで一人で行うことができる。特に片付けや掃除には、丁寧さが見られる。 - 新ラベルに対しては、前単元から興味関心が高く、今単元でも意欲的に取り組むことができると思われる。	- 目標数と出来栄を意識して、時間一杯成型を行う。 - 前の工程の進捗状況を見ながら、成型と枠外しの工程に並行して取り組む。	- 目標を意識できるように、毎日の成型数を記録し、本人と確認できるようにする。 （工程や手順）（友達や教師との関わり） - 出来栄を意識できるように、必要に応じて教師と一緒に石けんの表面を確認したり、自分で出来栄の確認を行っていることを称賛したりする。 （工程や手順）（友達や教師との関わり） - 自分でその時にすべき作業内容を判断できるように、2つの工程（成型、枠外し）を任せ、必要に応じて前の工程の進捗状況を見ながら作業を行うように声掛けする。 （場の配置）（工程や手順）	

名 前		Fさん (1学年)		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
- 自分の役割や仕上がりを意識してグリセリンソープ作りに取り組む。 - グリセリンソープをPRするための動画を仲間と協力して作ったり、販売活動でお客様と必要なやり取りを行ったりする。		- 班の仲間と役割分担することで自分の役割に責任を持って取り組む。(主) - 販売活動でお客様と笑顔で関わったり、適切な声量で「いらっしゃいませ。」や「ありがとうございました。」などとやり取りをしたりする。(主) - 電子レンジや金属ヘラ、スケールなどの器具を正しく安全に使用する。(知・技) - 表面が滑らかになったかどうかを判断しながら、仕上げに無水エタノール液を適量振り掛ける。(思・判・表)		
本単元に関わる支援内容		作業① 自立②	主な各教科との関連	職業1段階アイウ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
グリセリンソープ作り	- グリセリンソープの製作手順が分かり、一人で製作することができるようになっている。 - 仕上がりを丁寧にしようとする意識があり、仕上げの工程も慎重に行っている。	仕上がりを意識しながら、グリセリンソープを目標数製作する。	- その日に自分が担当するグリセリンソープの種類や色、製作目標数が分かるように、製作担当を示したカレンダーを用意する。(教材や教具)(友達や教師との関わり) - 仕上げを自分で行うことができるように、表面を滑らかにするために使用する無水エタノール液は、微量ずつ振り掛けられる道具に入れて使用する。(教材や教具) - 準備から片付けまで、一人で製作を進めることができるように、材料や道具の置き場所を分かりやすく示す。(場の配置)	

名 前		Gさん (2 学年)		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
- 自分の役割を意識して、班の仲間と一緒に、意欲的にグリセリンソープ作りに取り組む。 - グリセリンソープの良さを紹介したり、たくさん売ったりすることを目標に、「グリセリンソープPR班」のメンバーと相談して動画の内容や実演の仕方を考える活動に意欲的に取り組む。		- 小さいスプーンや計量カップなどの用具を使い、ほぼ正確な分量の色素と水を量る。(知・技) - 教師の説明や友達の意見を聞いて、どんな動画を作るのか理解する。(思・判・表) - 動画作りや体験コーナーの役割を、友達と相談して決める。(主) - たくさん作ることを目標に、班のメンバーと役割分担して協力してグリセリンソープ作りに取り組む。(主)		
本単元に関わる支援内容		生単① 作業① 特活① 自立②	主な各教科との関連	国語 1 段階A 数学 1 段階A 職業 1 段階Aアイ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
グリセリンソープ作り	- 手順を覚えて意欲的に取り組んでいる。数の大小を判断することが難しく、計量は難しい。確認のために何度も教師に聞く必要があるため、友達や教師が計量の工程を担当し、その他の工程を任せることにしたところ、自信を持って取り組めるようになった。 - 色素の粉を小さいスプーンで擦り切ったり、色を混ぜる際の水を小さじスプーンで量ったりすることは手先の細かい作業なので難しいが、集中して取り組むことができる。	何の種類を何個作るのか分かり、任された工程に意欲的に取り組む。	- 今日何を作るのかが分かりやすいように、「グリセリンソープ製作日程表」を掲示しておく。(見通しやめあて) - 自分一人で取り組めるように、毎日同じ工程(色素作り、素地を溶かして色素を混ぜる、型に流す)に繰り返し取り組む。(工程や手順) - 色素を正確に量れるように、「材料カード」を準備しておく。(教材や用具)	

名 前		Hさん (2 学年) ※協議対象生徒		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
・素地や色素などの分量を正確に量ったり、電子レンジで決められた秒数を操作したりして、綺麗な「グリセリンソープ」を作ること目標に取り組む。 ・「グリセリンソープ」の良さを紹介したり、たくさん売ったりすることを目標に、「グリセリンソープPR班」の友達と相談して、手洗い動画や「体験コーナー」の内容を考える活動に意欲的に取り組む。		・素地や色素を分量表通りに正確に量ったり、素地を溶かすための設定時間を守って電子レンジを操作したりする。(知・技) ・綺麗な表面に仕上がるように、適量の無水エタノール液を振り掛ける。(知・技) ・「グリセリンソープPR班」の友達との話し合いで、「グリセリンソープ」の良さをPRするためのせりふや「体験コーナー」の進め方について積極的にアイディアを出す。(思・判・表)(主) ・班のリーダーとして、中心となって動画作りや「体験コーナー」の準備に取り組む。(主)		
本単元に関わる支援内容		生単①②作業①③ 自立①	主な各教科 との関連	職業1段階Aアイ 国語1段階A 数学1段階A、C
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
グリセリンソープ作り	・グリセリンソープ作りが好きで、意欲的に時間一杯取り組んでいる。「素地の計量→色素作り→素地を溶かして色素を混ぜる→型に流す」という一連の手順を覚え、自分なりにやりやすいやり方を考えて取り組んでいる。 ・型や種類によって素地や色素の分量が違うため、「分量カード」を確認して計量する必要がある。慣れてきたことで自己流になり、分量をしっかりと確認せずに計量したり、素地を電子レンジで溶かす際にタイマーを使わずに操作し、素地が沸騰して容器からあふれたりするなど、丁寧さに欠ける。	・今日作る「グリセリンソープ」の種類とその分量を確認し、綺麗な仕上がりを意識して製作に取り組む。	・今日何を作るのかが分かりやすいように、「グリセリンソープ製作予定表」を掲示し、作業前に確認する。(見通しやめあて) ・分量を正確に計量できるように、素地のg数と色素の量を示した分量表と、色素作りに使う水を量りやすいミニ計量カップ(またはスプーン)を準備する。(教材や用具) ・分量をいつでも確認できるように、分量表を作業机に貼っておき、製作の前にしっかり確認するように約束する。 (教材や用具)(友達や教師との関わり)	

名 前		I さん (3 学年)		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
※活動場所：学習室⑤ ・教師と一緒に、できる数分のロゴシールを貼る。 ・販売で、みんなと一緒に、お客様に「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」と呼び掛けてやり取りしたり、製品を手渡ししたりして販売活動を楽しむ。		・所定の場所に丁寧にロゴシールを貼る。(知・技) ・教師とやり取りしながら作業に取り組む。(主) ・友達と、会計や袋詰めなどの販売に関わる役割を分担し、自分の役割を意識して販売活動に取り組む。(思・判・表)		
本単元に関わる支援内容		生単② 作業①	主な各教科との関連	職業 1 段階 A アイ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
ロゴシール貼り	・気持ちが落ち着いているときに、普段学習している教室から作業部屋まで移動し、友達の作業の様子を眺めることがあった。そのタイミングで「I さんもラッピングする？」と誘い掛けると、「うん。」と言って何袋かマスキングテープで袋を閉じる工程に取り組んだことがあった。丁寧に作業することができた。	・教師と一緒に、10 個分のよねよう石けんまたはピンククレイ石けんに、新しいロゴシールを貼る。	・気持ちが向いたときにすぐ取り組めるように、学習室⑤に、ラッピング袋に入れたよねよう石けんとピンククレイ石けん、新しいロゴシールを、それぞれ 10 個 (枚) 以上準備しておく。(教材や用具) ・様子を見て作業に誘い掛ける。(友達や教師との関わり) ・新しいロゴシールに関心を持てるように、見やすい場所に置いておく。(場の配置)	

(5) 評価

- ・良い製品をたくさん作るために、一人一人が精一杯製品作りに取り組むことができたか。